

**芸術文化団体経営実態調査  
調査票  
—実演団体編—**

ご多忙中大変恐縮ですが、以下の調査票にご記入いただきますようお願い申し上げます。なお、ご記入後は、平成 25 年 12 月 16 日（月）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストへ投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

**【お問い合わせ先】**

静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター アートマネジメント人材育成グループ  
〒430-8533 静岡県浜松市中区中央 2-1-1  
電話:053-457-6138 (月～金 10:00～17:00) E-mail:arts-mgt@suac.ac.jp

**A. はじめに、貴団体の基本的な情報についてお伺いします。**

問1. 平成 24 年度の貴団体の属性について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 公益社団法人
2. 一般社団法人
3. 公益財団法人
4. 一般財団法人
5. 旧制度の財団法人、社団法人
6. NPO 法人 ※ i ii についてもお答えください→ i) 認定 NPO 法人 ii) その他の NPO 法人
7. 営利企業
8. 宗教法人
9. 任意団体
10. その他 [ ]

問2. 貴団体の設立年についてお答えください。貴団体が法人である場合は、法人格を最初に得た年と現在（回答時点）の法人格を得た年をお答えください。

設立年：西暦 \_\_\_\_\_ 年      法人格を最初に得た年：西暦 \_\_\_\_\_ 年  
現在の法人格を得た年：西暦 \_\_\_\_\_ 年

実演

問3. 貴団体の活動分野について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. オーケストラ
2. オペラ
3. 1、2以外の音楽団体（合唱団、吹奏楽団など）
4. ダンス・舞踊団体（バレエ、現代舞踊、民俗舞踊など）
5. 劇団（演劇、人形劇、ミュージカルなど）
6. 伝統芸能を扱う団体（歌舞伎、人形浄瑠璃、能楽、狂言、邦楽、邦舞、雅楽、声明など）
7. 大衆芸能を扱う団体（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、太神楽など）
8. その他 [ ]

**B. 次に、貴団体の構成員についてお伺いします。**

問4. 平成24年度末の貴団体の役員の総数及び常勤の人数をご記入ください。また、常勤の方については、その内訳についてもご記入ください。

	総数	うち、常勤				
		合計	①事務局職員兼務	②実演家(アーティスト)兼務	③ ①②の両方を兼務	④兼務はしていない
		役員（理事、評議委員等）				

※この調査では、「常勤」とは、月16日以上勤務されている方を指します。

問5. 平成24年度末の貴団体の芸術面に関する責任者（芸術監督、プロデューサー等）がいる場合は、その役職名をご記入ください。また、常勤の方については、その内訳についてもあてはまるものに○をつけてください。

役職名	常勤の場合			
	①事務局職員兼務	②実演家(アーティスト)兼務	③ ①②の両方を兼務	④兼務はしていない

問6. 平成24年度末の貴団体の問4、5以外の構成員とその属性について、「A」「B」のどちらかの回答欄をお選びの上、人数をご記入ください。構成員は、雇用形態に関わらず当該業務に従事している人を対象にしてください。法人化していない場合は、わかる範囲でお答えください。

		総数	うち				うち		うち		うち		雇用以外の契約 (請負契約)		うち女性
			常勤 月16日以上勤務)	他機関からの 出向者	任期付 契約社員を含む)	女性	非常勤 月16日未満勤務)	女性	パート・ アルバイト 時給制)	女性	協力会社からの 派遣職員	女性	女性	女性	
A 実演家と事務局が明確に区 分けされている場合	実演家														
	事務局ス タッフ	管理系※1													
		制作系※2													
		その他※3													
B 実演家と事務局が明確に区 分けされていない場合	Bの総数														
	うち、実演家														
	うち、管理系事 務														
	うち、制作系事 務														

※1主に総務、本部企画、本部広報、人事・労務、財務・会計に携わっている構成員

※2主に展示企画・調査研究、事業広報・営業、文化振興事業（助成・研修等）、教育普及に携わっている構成員

※3技術関係等に携わっている構成員

実演

問7. 貴団体が平成24年度に行った事務局スタッフを対象とした研修について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

		仕事を離れての研修 (OFF-JT)	仕事をしながらの体系的な教育 訓練 (OJT)
◆対象者 (立場別)			
①	新規採用者を主な対象とするもの		
②	中堅職員 (係長相当職員以上) を主な対象とするもの		
③	一般職員 (新規採用者と中堅職員を除く) を主な対象とするもの		
◆対象者 (雇用別)			
①	常勤職員のみを対象		
②	非常勤職員のみを対象		
③	常勤職員、非常勤職員の両方を対象		
◆内容			
①	実務的な研修 (接遇、コンピュータ操作技術等)		
②	芸術に関する専門知識の研修		
③	マネジメントに関する研修 (ファンドレイジング、マーケティング等)		
④	その他 ※具体的にご記入ください ( )		

**C. 次に、貴団体の財務についてお伺いします。**

問8. 平成24年度の収入について金額をお答えください。千円未満は切り捨ててお答えください。(合計の際に千円単位に切り捨てたことによる誤差が生じて構いません。)

1. 基本財産運用益		千円
2. 特定財産運用益		千円
3. 事業収入		千円
①自主公演・入場料		千円
②出演料 ※依頼公演等を含む		千円
③その他の事業収入		千円
4. 補助金・助成金		千円
①公的支援	i 国 文化庁・基金	千円
	ii その他の国からの支援	千円
	iii 地方公共団体 (含:自治体財団)	千円
	うち 公募	千円
②民間支援 ※寄付金以外のものは除く	i 助成財団	千円
	うち 公募	千円
	ii 一般企業	千円
	うち 公募	千円
5. 寄付金		千円
①個人		千円
②法人		千円
6. 会費		千円
①個人		千円
②法人		千円
7. その他 ※1～6以外の大きな収入がある場合 ( )		千円

実演

問9. 平成 24 年度の支出について金額をお答えください。千円未満は切り捨ててお答えください。(合計の際に千円単位に切り捨てたことによる誤差が生じて構いません。)

人件費	1. 直接雇用している雇用者への給与・賞与	千円
	うち、実演家	千円
	うち、事務局スタッフ	千円
	うち、役員	千円
	2. 非雇用者への謝金（請負契約、委託等）	千円
物件費	3. 管理部門 ※土地、建物、機械、備品、システム開発等施設運営全般にかかる経費。警備、光熱費も含む。	千円
	4. 事業部門 ※事業にかかる直接経費。事業委託費、事業の広報費、備品・消耗品費、会議費、交通費、通信費、他の施設を使用した際にかかる施設賃貸費など。	千円
	うち公演	千円
	うち自主公演	千円
	5. その他 ※3、4以外で大きな支出がある場合 ( )	千円
その他経費	債務返済など ( )	千円

**D. 最後に貴団体の事業についてお伺いします。**

問10. 平成24年度の貴団体の舞台芸術の事業実施状況について、各項目に数字をご記入ください。

	企画数（回）	開催回数（回）	入場者数（人）
舞台芸術事業合計			
① うち自主公演			
② うち依頼公演			

問11. 平成24年度の舞台芸術公演以外の事業実施状況についてお答えください。

		企画数（回）	開催回数（回）	入場者数（人）
① アウトリーチ※1 文化庁『次世代を担う子ども文化芸術体験事業』等含む	学校			
	学校以外			
② 公開リハーサル				
③ バックステージツアー				
④ レッスン、教室				
⑤ 講演会、シンポジウム				
⑥ 展示企画等				
⑦ 出版、記録物制作（CD、DVD等）				
⑧ その他※2 [ ]				

※1 ワークショップ方式の場合のみご記入ください。

※2 調査研究等を含みます。

問12. 貴団体が普段から使用している練習場について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 所有している
2. 所有していないが、無料で借りることができる
3. 所有していないが、有料で占有することができる
4. 所有していないが、有料で優先的に借りることができる
5. 1～4のような待遇は特にない（一般と同じ扱い）
6. その他 [ ]

F：最後に、ご回答いただいた担当者や連絡先等についてお答えください。

■貴団体名 \_\_\_\_\_

■ご担当者部署名 \_\_\_\_\_

■ご担当者名 \_\_\_\_\_

■連絡先 TEL \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。